

作成日 2022/05/09

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	レジトルモンX A錠
会社名称	丸三化学産業株式会社
住所	大阪市中央区農人橋1-1-10
電話番号	06-6809-5703
FAX番号	06-4790-3300
緊急連絡電話番号	06-6809-5703
推奨用途	水処理剤

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(上気道)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
重篤な眼の損傷
水生生物に有害
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による上気道の障害のおそれ

注意書き
安全対策

保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

応急措置

環境への放出を避けること。
直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

保管
廃棄

施錠して保管すること。
内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の
規制に従って廃棄すること。
粉じん爆発危険性、拡散した場合、爆発可能性の
ある粉じん－空気混合物を形成する可能性あり。

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
有機窒素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)	—	特定できない	(5)－ 5235,(9)－ 378	既存	—
有機酸A(安息香酸)	—	C7H6O2	(3)－1397	既存	—
有機酸B(コハク酸)	—	C4H6O4	(2)－846	既存	—
賦形剤	21%	特定できない	—	—	—

GHS分類に寄与する不純
物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受
けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

眼に入った場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次
に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場
合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡
すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

棒状注水。

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

拡散した場合、爆発可能性のある粉じん-空気混合物を形成する可能性あり。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

環境に対する注意事項

必要に応じた換気を確保する。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

粉じんが飛散しないようにして取り除く。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために、防爆型の換気装置にて換気を行うこと。

安全取扱注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

容器を接地すること。アースをとること。

火花を発生させない工具を用いること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

粉じんの拡散を防止すること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

情報なし

接触回避
衛生対策

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
有機窒素硫黄系包接化合物(イソチアゾン系防腐剤)	未設定	未設定	未設定
有機酸A(安息香酸)	未設定	未設定	未設定
有機酸B(コハク酸)	未設定	未設定	未設定
賦形剤	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
電気機器、換気装置、照明機器等の機器類は防爆構造とすること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

密閉する設備又は局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具
眼、顔面の保護具

保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

固体
固体、成形品錠剤

色

淡褐色

臭い

弱い特異臭

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限 下限

データなし

界／可燃限界

上限

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配

データなし

係数(log 値)

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性

避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

通常の実取扱いでは安定。
通常の実取扱いでは安定。
粉じんが空気と混合すると、粉じん爆発の可能性
がある。
火花、裸火、静電気。
情報なし
情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

区分に該当しない:有機酸A(安息香酸)(毒性値
=2530mg/kg 出典:NITE)
分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒
素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

経皮

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を
含有するため分類できない。
区分に該当しない:有機酸A(安息香酸)(出典:NITE)

吸入

分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒
素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を
含有するため分類できない。
(急性毒性(吸入:気体))
GHS定義による気体ではない。
(急性毒性(吸入:蒸気))
データ不足のため分類できない。
(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))
区分に該当しない:有機酸A(安息香酸)(出典:NITE)

分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒
素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を
含有するため分類できない。
データ不足のため分類できない。
区分1:有機酸A(安息香酸)(出典:NITE)

皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷性
/眼刺激性

分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒
素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

眼区分1の成分合計が濃度限界(3%)以上のため、
区分1に該当。

呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性

データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
(生殖毒性)

区分2:有機酸A(安息香酸)(出典:NITE)
分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒
素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

有機酸A(安息香酸) $\geq 3\%$ のため、区分2に該当。

(生殖毒性・授乳影響)
データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データ不足のため分類できない。

区分2:有機酸A(安息香酸)(臓器=上気道 出典:NITE)

分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

有機酸A(安息香酸)≥10%のため、区分2(上気道)に該当。

データ不足のため分類できない。

誤えん有害性

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性 短期(急性)

区分3:有機酸A(安息香酸)(出典:NITE)

分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限界(25%)以上のため、区分3に該当。

水生環境有害性 長期(慢性)

区分に該当しない:有機酸A(安息香酸)(出典:NITE)

分類できない:有機酸B(コハク酸), 賦形剤, 有機窒素硫黄系包接化合物(イソチアゾロン系防腐剤)

残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

情報なし

情報なし

情報なし

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

Regulatory
Information by Sea

Not dangerous goods

Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78,Annex II,and
the IBC code

Not applicable
Not applicable

Regulatory
Information by Air

Not dangerous goods

国内規制	陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL73/78附属 書Ⅱ及びIBCコード によるばら積み輸送 される液体物質	非該当 非危険物 非該当 非該当
特別の安全対策	航空規制情報	非危険物 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号		なし

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当
労働安全衛生法(通知対象物質)
毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)
特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律
適用される主たる国内法令
主たる適用法令なし

非該当
非該当
非該当

16. その他の情報

参考文献
免責事項

NITE GHS分類公表データ
記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
このSDSはJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。

作成日 2022/05/09

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 レジトルモンX B錠
会社名称 丸三化学産業株式会社
住所 大阪府中央区農人橋1-1-10
電話番号 06-6809-5703
FAX番号 06-4790-3300
緊急連絡電話番号 06-6809-5703
推奨用途 水処理剤

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分4
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き
安全対策

警告
飲み込んだ場合や吸入した場合は有害

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
換気の良い場所で保管すること。
内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

応急措置

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
無機リン酸塩	—	特定できない	(1)-497	既存	—
有機窒素化合物	—	特定できない	(5)-537	既存	—
賦形剤	25.05%	特定できない	—	—	—

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置		
吸入した場合		気分が悪い時は、医師に連絡すること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合		皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
眼に入った場合		眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合		飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火情報なし
使ってはならない消火剤		燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避け
火災時の特有の危険有害性		消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
特有の消火方法		火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項		漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。
二次災害の防止策		付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
	接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	安全な保管条件	情報なし
	安全な容器包装材料	換気の良い場所で保管すること。 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
無機リン酸塩	未設定	未設定	未設定
有機窒素化合物	未設定	未設定	未設定
賦形剤	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

固体

成形品錠剤

色

白色

臭い

特異臭

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限 下限

データなし

界／可燃限界

上限

データなし

引火点

データなし

自然発火点

常温で空気と接触しても自然発火しない。

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配

データなし

係数(log 値)

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

情報なし

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

区分4:有機窒素化合物(毒性値=560mg/kg 出典:NITE)

分類できない:賦形剤

データなし:無機リン酸塩

分類結果は区分4に該当。

経皮

区分外:有機窒素化合物(出典:NITE)

分類できない:賦形剤

データなし:無機リン酸塩

分類結果は区分外に該当するが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

吸入

(急性毒性(吸入:気体))

GHS定義による気体ではない。

(急性毒性(吸入:蒸気))

データ不足のため分類できない。

(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))

区分4:有機窒素化合物(毒性値=1.43mg/l 出典:NITE)

分類できない:賦形剤

データなし:無機リン酸塩

分類結果は区分4に該当。

皮膚腐食性/刺激性

区分外:有機窒素化合物(出典:NITE)

分類できない:賦形剤

データなし:無機リン酸塩

分類結果は区分外に該当するが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性

区分2:有機窒素化合物(出典:NITE)

分類できない:賦形剤

データなし:無機リン酸塩

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。

呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

区分外:有機窒素化合物(出典:NITE)

分類できない:賦形剤

データなし:無機リン酸塩

分類結果は区分外に該当するが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

(生殖毒性)

データ不足のため分類できない。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分2:有機窒素化合物(臓器=呼吸器 出典:NITE)

区分3:有機窒素化合物(臓器=麻酔作用 出典:NITE)

分類できない:賦形剤

データなし:無機リン酸塩

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。

※分類に寄与しない成分:

有機窒素化合物(区分=区分2 出典:NITE)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性 短期(急性)

分類できない:有機窒素化合物(出典:NITE)

分類できない:賦形剤
データなし:無機リン酸塩
分類結果は区分外に該当するが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
分類できない:有機窒素化合物(出典:NITE)

水生環境有害性 長期(慢性)

分類できない:賦形剤
データなし:無機リン酸塩
分類結果は区分外に該当するが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
情報なし
情報なし
情報なし
データ不足のため分類できない。

残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory
Information by Sea
Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL

Not dangerous goods

Not applicable
Not applicable

73/78,Annex II, and
the IBC code

国内規制

Regulatory
Information by Air
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL73/78附属
書Ⅱ及びIBCコード
によるばら積み輸送
される液体物質
航空規制情報

Not dangerous goods

非該当
非危険物
非該当
非該当

特別の安全対策

非危険物
輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

作成日 2022/05/09

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 レジトルモンX C錠
 会社名称 丸三化学産業株式会社
 住所 大阪市中央区農人橋1-1-10
 電話番号 06-6809-5703
 FAX番号 06-4790-3300
 緊急連絡電話番号 06-6809-5703
 推奨用途 水処理剤

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

GHS分類に該当するデータは得られていない。

GHSラベル要素

注意喚起語 GHSに基づく注意喚起語なし
 危険有害性情報 GHSに基づく危険有害性情報なし
 注意書き
 安全対策 必要に応じて、適切な保護具を着用すること。
 応急措置 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 保管 換気の良い場所で保管すること。
 廃棄 内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報 化学物質・混合物の区別

化学物質

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)	100%	特定できない	(1)-497	既存	-

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置 吸入した場合 皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置 適切な消火剤

小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水。
 大火災: 泡消火剤。

使ってはならない消火剤
 火災時の特有の危険有害性

情報なし
 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

消火作業は、風上から行う。
 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
 関係者以外は安全な場所に退去させる。
 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

環境に対する注意事項

必要に応じた換気を確保する。
 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

情報なし

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

情報なし

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

固体

固体、成形品

色

白色

臭い

無臭

融点／凝固点

約800℃

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限 下限

データなし

界／可燃限界

上限

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

約7(10g/L at 20℃)

動粘性率

データなし

溶解度

水：わずかに溶ける

n-オクタノール／水分配

log Pow: 約-2

係数(log 値)

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.3 g/cm³ (at 20℃)

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

安定

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

湿度

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

有害な分解生成物の発生は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

経皮

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

吸入

(急性毒性(吸入:気体))

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

(急性毒性(吸入:蒸気))
データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))
データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

皮膚腐食性/刺激性

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

眼に対する重篤な損傷性
/眼刺激性
呼吸器感作性

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

皮膚感作性

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

生殖細胞変異原性

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

発がん性

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

生殖毒性

(生殖毒性)
データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

(生殖毒性・授乳影響)
データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

誤えん有害性

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

水生環境有害性 長期(慢性)

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

データなし:リン酸塩(ポリリン酸のナトリウム塩)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory
Information by Sea

Not dangerous goods

Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78, Annex II, and
the IBC code

Not applicable

Not applicable

国内規制

Regulatory
Information by Air
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL73/78附属
書Ⅱ及びIBCコード
によるばら積み輸送
される液体物質

Not dangerous goods

非該当

非危険物

非該当

非該当

特別の安全対策

航空規制情報

非危険物

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当
労働安全衛生法(通知対象物質)
毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)
特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律
適用される主たる国内法令

非該当

非該当

非該当

主たる適用法令なし

16. その他の情報

参考文献

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常の手配を対象としたものであります。特殊な手配の場合には、この点のご配慮をお願いします。

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠作成しています。